



山に囲まれた最上町における有害鳥獣との関わり方

議会だよりでも特集が組まれた有害鳥獣対策。ハンターや役場・警察に頼るのは最も大事なことです、まずは一人ひとりが山と里の境界線の管理を行い、収穫しない果樹や作物を放置しないことが最も大切なことだと感じています。ハンターの皆さんは基本的には狩猟期間に山へ入り、自分たちで食べる分だけの命をいただき、供養もされているそうです。大型の動物を駆除するのは、ハンターの皆さんも命懸けですし、できれば駆除ではない形で被害を減らしたいという方もいらっしゃいます。夏場の熊はお腹を空かせている状態なので、痩せていて食べられる部分もほとんどないことから、処分するしかないそうです。

高齢となり山や果樹の管理も難しくなっている方も多くいらっしゃると思いますし、空き家になって所有者に連絡がつかない果樹もあります。もしご親戚などで所有者がわかっているものに関しては、ぜひご連絡いただき、収穫や伐採の依頼をしていただけますと幸いです。

また、生ゴミを堆肥に変えるために畑に埋める場合もあると思いますが、秋の時期は特に外に放置しないよう

お願いいたします。

幸い最上町では今年は人的な被害は出ておりませんが、いつどのような被害が出るかがわからないのが現状です。家や作物の入った小屋の鍵は閉め、周囲に注意を払って生活してください。一人ひとりの心がけで最悪の事態を避けることができます。

安心して暮らせる最上町を皆さんと一緒に作っていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



熊に折られた所有者不在の柿の木



6月定例会 一般質問

生きづらさや人口流出の原因となる
アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)
を解消し、心豊かに暮らせる町へ。

- ・家事や子育ては女性がするものだ
- ・子どもが病気になった。有給を取るなら母親だ
- ・子どもは最低3人産むべきだ
- ・子育て中の女性は正社員にすべきではない
- ・女性は男性よりも能力が低い

意識していなくても、上記のような事柄がいつの間にか「当たり前」となり、無意識に思い込んでいることはないでしょうか。男女平等の世の中になり、以前の価値

観が見直されています。もちろん、体格的に向き不向きな仕事もありますが、女性だから、男性だからで区別してしまうのはもったいないことだと感じます。家庭や職場の中で、自身の能力を活かすことができれば、不満や不平等感は生まれませんし、良い循環が生まれるのではないのでしょうか。

特に最上郡は若年女性の流出が顕著です。若年女性や、子育て中の女性が働きやすい職場も少なく、このままでは予測を上回るスピードで人口が減少していきます。

人それぞれ様々な事情があり子供を産めない方や産まない選択肢をされる方もいます。結婚しない選択肢もまた自由です。それぞれの人生を自分らしく生きることができ、また他者の生き方も尊重できる環境が人を留まらせ、地域の活力にもなっていくでしょう。

少しだけ日々の生活の中で偏見で物事を見ていないか意識してみてくださいたら嬉しいです。町にもそのような環境づくりの後押しをお願いしています。

最上町—新庄市をつなぐ 町営バスの設置を。

人口流出を防ぐ

公共交通対策が急がれています。

現在陸羽東線の代行バス対応により、以前より新庄へのアクセスに不便さが生じています。特に県立病院への通院や高校生の通学においては、利用者やそのご家族にかなりの負担を強いる状況になっています。ダイヤが減り、バスも舟形周りになることから乗車時間が大幅に増えています。

2年後の復旧を目指し工事が始まりましたが、2年間も不便な状況が続くのは住民にとってかなりのストレスになることから、早急に新庄市と連携を取り、新庄駅や県立病院を経由するバスなどの運行を検討していただけないか質問しました。

現在町では12月より公共ライドシェアの実証実験が始まります。まずはタクシー事業者の撤退による地域

内の移動の不便さを解消するとのことでしたが、町外への通学・通院などについても同時に検討するべきと感じています。実際にその不便さから他市町村への転出の声も多く聞かれているからです。

交通が脆弱である地域に移住・定住を進めることは非常に困難ですし、観光の面においても不利益になることは間違いありません。インバウンド需要もかなり増えつつある今、しっかりと政策を進めていかなければ、チャンスを逃し、人は離れていくばかりです。



●この他に、「疎開保険による関係人口拡大について」を質問しました。

本会議・決算委員会で私がした主な質問

- ・人口が確実に減る予測の中で段階的な計画を
- ・西公園施設の利用促進による運営負担軽減を
- ・有害鳥獣対策で、わなの監視カメラ設置補助を
- ・昨年の最上町に婚姻数と出生数は
- ・空き家対策に住まいのエンディングノート活用を
- ・ふるさと納税をどうまちづくりに活用しているのか
- ・ひきこもりの方の把握と就労支援について
- ・最上町の友好会員の实態と関係人口創出
- ・連携する新庄市の病児保育室の利用実績
- ・ソバを使った加工品の開発や情報発信
- ・最上町におけるファミリーサポートの設置
- ・移転した大堀学童の状況について
- ・出向制度などを活用した職員の意識改革
- ・ペアレントサポート講座の設定日時は適正か
- ・最上病院のキャッシュレス決済の早期導入を

その他議員・個人活動

● 広報編集委員会の委員長になりました

9月に任期2年目に入りました。委員会等の編成も変わり、常任委員会は引き続き総務文教常任委員会、広報委員会では委員長に推薦していただきました。今後動画での発信なども視野に入れながら、より身近な議会に感じていただけるような誌面づくりを行ってまいります。

● パーマネントライフ的うねる市開催

10月13日(日)に赤倉温泉 une にてこれからの未来について考えるきっかけを作るマルシェを開催し、オーガニックやリサイクルのものなど、環境にやさしい商品が並びました。また、テーマに合わせたドキュメンタリー映画「tomorrow パーマネントライフを探して」の無料上映も行いました。



【編集後記】

いつになく人口流出と熊の増加を意識する1年になりました。豊かな自然の中で生きる楽しさや素晴らしさは間違いなくあるので、しっかり伝えつつ、不便さを解消できるよう引き続き考えてまいります。

